

第5学年

書くこと①

提案内容を分析・吟味して書くことを決め、効果的な構成で提案書を書くこと

つまずきの実態

～こんな児童の姿が見られませんか？～

自分の考えを、他の視点から見直したり、他の条件などに関係付けたりすることができない。

会の意義や目的と関係付けて、提案内容を考えられていない。

わたしは、最後の「班のつどい」の内容として、『いす取りゲーム』を提案します。なぜかというところ、いすとりゲームは楽しい遊びだからです。みんなでやると盛り上がると思います。ぜひ、わたしの提案するいす取りゲームを選んでください。

わたしは、最後の「班のつどい」の内容として、『いす取りゲーム』を提案します。なぜかというところ、いすとりゲームは楽しい遊びだからです。みんなでやると盛り上がると思います。ぜひ、わたしの提案するいす取りゲームを選んでください。

わたしは、最後の「班のつどい」の内容として、『いす取りゲーム』を提案します。なぜかというところ、いすとりゲームは楽しい遊びだからです。みんなでやると盛り上がると思います。ぜひ、わたしの提案するいす取りゲームを選んでください。

わたしは、最後の「班のつどい」の内容として、『いす取りゲーム』を提案します。なぜかというところ、いすとりゲームは楽しい遊びだからです。みんなでやると盛り上がると思います。ぜひ、わたしの提案するいす取りゲームを選んでください。

会に参加する、「1～4年」、「運営する5年」、「祝ってもらおう6年」それぞれの立場から提案内容やその理由を考えられていない。

実践の概要

単元名

提案書を書いて、班のつどいを『超変革』！

『明日をつくるわたしたち』光村図書

目標 問題点と関係付けて、提案内容を分析・吟味することができる。

- 内容
- これまでの班のつどいの問題点を共有する。
 - 問題を解決できる提案内容をグループで考える。
 - 提案内容を観点別に分かれた専門チームで分析し、その後、元のグループで吟味する。
 - 提案書を効果的な構成で書く。

学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

	学習内容（単元名）	つまずきの実態
第6学年	説得力のある意見文を書いて、お別れ遠足の思い出を作ろう	自分の意見が深められなかったり、自分の考えを支える効果的な根拠が挙げられなかったりしている。
第5学年	提案書を書いて、班のつどいを『超変革』！	自分の考えを、他の視点から見直したり、他の条件などに関係付けたりすることができない。
第4学年	3年生にクラブのよさを伝えよう	自分の考えを明確にして、伝えたいことを写真や絵と関係付けた紹介文を書けていない。
第3学年	ぼうけん物語の作者になって出版記念会を開こう	内容的なつながりを考えて書きたいことを決めることができない。
第2学年	かんさつ名人になろう	観察したことから書くことを選んだり、簡単な構成で文章を書いたりすることができない。
第1学年	しらせたいなカードで、鈴原小学校の『いきもの』をしらせよう	メモしたことをもとにして、観点ごとにまとまりのある文章に書き表せない。

単元末の目指す姿

- 観点別に役割を与えられることで、自分の観点と問題とを関係付けて分析することができるようになる。
- それぞれの観点から分析されたことを統合することで、様々な視点から吟味して考えをつくることができるようになる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ①

★対話的な学びにつながる実践

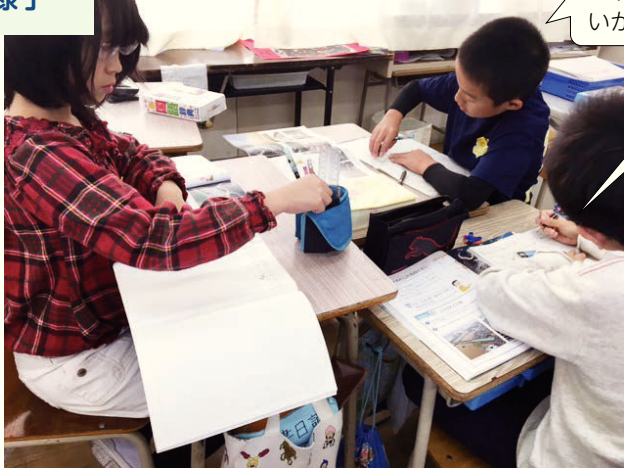
提案内容について、専門チームに分かれて分析させる。

活動のねらい▶ ・提案について、他の視点から分析することができる。

ここが
ポイント

専門チームは、「班のつどい」に必然的に生まれる視点「1～4年生」「運営する5年生」「お祝いされる立場の6年生」ごとに作られている。専門チームを作る学習ではこの必然的な立場が大切である。

授業の様子



ぼくたち、「6年生の立場」チームからすると、いす取りゲームは、小さい子に怪我をさせないか心配だね。

そうだね、でも、6年生の立場からすると、6年生が活躍できそうだから楽しめるのかも。

(期待される児童の姿)

立場の違うチームの考えを比較することで、共通して大切にしたい視点を再認識したり、新たな視点を取り入れたりするなど、交流を通して自身の提案を客観的に見直すことができ、対話的な学びにつながるることができる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ②

専門チームで考えたことをもちより、元のグループで提案を吟味させる。

活動のねらい▶ ・他の視点から分析したことを関係付け、提案を吟味することができる。

ここが
ポイント

元のグループで交流させる時は、「下級生の願い」や「運営上の問題点」など、専門チームで分析した、その専門チームならではの意見を出させることで、主体的・協働的に学ばせることができる。

授業の様子



専門チームの分析をもとに、元のグループで吟味している様子

いす取りゲームは、みんなが楽しめると思っていたけど、安全面についても考えておかないといけないよ。

(期待される児童の姿)

元のグループに戻り、専門チームとして分析したことを発表し合っている。それぞれの分析内容を関係付けることで、提案内容を吟味することができる。